

## カリブ海域史年表 1492~1983年

し 志 がつ 柿 かつ 光 ひろ 浩

本年表では、中央アメリカのベリーズ、南アメリカのガイアナ、スリナム、フランス領ギアナもカリブ海域に含めた。

- 1492年8月3日 コロン(Cristóbal Colon)ら、アジアを目指してスペインのパロス港を出港(第1次航海、~1493年3月15日)。
- 10月12日 コロンらグアナハニ(Guanajani、現バハマ諸島ウオトリング)島に到着。サンサルバドル島と命名、新世界「発見さる」。
- 10月28日 コロンら、キューバ島に上陸。
- 12月6日 コロンら、イスパニオラ島に到達、ナビダー植民地(La Navidad)を建設。
- 1493年9月25日 コロンら第2次航海に出港(~1496年6月11日)。
- 11月3日~16日 コロンら、ドミニカ、グアダルーペ、モントセラト、アンティグア、サンマルティン(現ネイヴィス)、サンタクルス(現セントクリストファー)、サン・ファン・パウティスタ(現プエルトリコ)の各島に到達。
- 11月28日 コロンら、イスパニオラ島に再び到着。ナビダー植民地が壊滅していたため、新たにイサベラ植民地(La Isabela)を建設。この時、サトウキビの栽培が新世界で初めて試みられる。
- 1494年 この年、イスパニオラ島で最初の原住民反乱が起きる。
- 5月 コロンら、ハマйка(現ジャマイカ)島に到達。
- 6月7日 スペインとポルトガル、トルデシーヤス条約によって世界の未発見地を分割。
- 1495年10月 アグアト(Juan de Aguado)、コロンの行政査察のためイスパニオラ島に到着。このころから、イスパニオラ島の原住民人口が急激に減少し始める。
- 1498年5月30日 コロンら、第3次航海に出港(~1500年11月25日)。
- 7月 コロンら、トリニダッドに到達。
- 8月 コロンら、南米大陸(現ベネズエラ付近)に到達。
- 1500年8月 インディアス新総督ボバディージャ(Francisco de Bobadilla)、イスパニオラ島に到着、コロンらを本国に送還。
- 1501年9月3日 インディアス新総督にオバンド(Nicolás de Ovando)が任命される。スペイン王室、スペイン生まれの黒人奴隷のインディアスへの輸入を許可。
- 1502年5月9日 コロンら、第4次航海に出港(~1504年11月7日)。
- 6月 コロンらマルティニカ(現マルティニーク)島に到達。
- 1503年1月 セビリアに商務院(Casa de Contratación)が設置され、インディアス貿易を独占的に管理。
- 12月20日 スペイン王室、エンコミエンダ制を認可。
- 1505年1月 黒人奴隷が鉱山労働者としてイスパニオラ島に輸入される。
- 1508年 ポンセ・デ・レオン(Juan Ponce de León)ら、プエルトリコの植民を開始。
- 1509年 インディアス新総督にディエゴ・コロン(Diego Colón)が着任。●エスキベル(Juan de Esquivel)ら、ジャマイカ植民を開始。
- 1511年 この年、ベラスケス(Diego Velázquez)ら、キューバ植民を開始。●プエルトリコでグアヤバナ(Guayabaná)の率いる原住民反乱。
- 10月 サントドミンゴ市(イスパニオラ島)に、新世界最初のアウディエンシア(audiencia)設置。
- 1512年12月27日 スペイン、ブルゴス法を制定、インディオ保護を規定。
- 1514年 ラス・カサス神父(Baltromé de las Casas)キューバ反エンコミエンダ運動を開始。
- 1516年 ラス・カサス、インディオ保護官の称号を与えられる。

- 1517年 スペイン王室、アフリカ人奴隷のインディアスへの輸入を許可。
- 1518年11月 コルテス(Hernán Cortés)ら、メキシコ征服に向けてキューバを出発。
- 1520年 このころ、イスパニオラ島で精糖工場が増加、黒人奴隷の輸入も増え始める。
- 1522年 イスパニオラ島で黒人奴隷の反乱。
- 1524年8月 スペイン、インディアス枢機会議(Consejo de Indias)を設置。
- 1530年 このころから、大陸部へのスペイン植民者の移動が増え、カリブ海域のスペイン人人口が減少。
- 1542年11月20日 スペイン、インディアス新法を發布、エンコミエンダを制限。
- 1543年 セビリアにインディアス貿易商人ギルド、コンスラード(consulado)設立。●外国船による襲撃が増え始めたため、インディアス貿易に武装船団(flotas)制を導入。
- 1554~55年 フランス人ソル(Jacques Sore)ら、キューバのサンティアゴ、ハバナを襲撃。
- 1562年 イギリス人ホーキンス(John Hawkins)、インディアス黒人奴隷貿易に従事。
- 1564年 このころまでに武装船団制確立。
- 1586年 イギリス人ドレイク(Francis Drake)、サントドミンゴを襲撃。
- 1588年 スペイン無敵艦隊、イギリス海軍に敗退、スペインの大西洋制海権弱まる。
- 1595年 ドレイク、プエルトリコを襲撃。イギリス人ローリー(Walter Raleigh)、ギアナ地方を探険。
- 1597年 このころ、オランダ人もギアナ地方を探険。
- 1598年 イギリス人クリフォード(George Clifford, Earl of Cumberland)、プエルトリコを襲撃。
- 1604年 イギリス人リー(Charles Leigh)ら、ギアナ地方の植民開始。  
8月19日 スペイン、ロンドン条約により、インディアスの独占的領有を断念。
- 1609年 イギリス人ソマーズ(George Somers)、パーミューダ島に漂着し植民を開始。
- 1616年頃 オランダ人、ギアナのエセキボ(Essequibo)地方(現ガイアナの一部)に植民。
- 1621年 オランダ西インド会社設立。
- 1623年頃 イギリス人、セントクリストファー島(別名セントキッツ島)に植民開始。
- 1624年頃 オランダ人、ベルビセ(現ガイアナの一部)に植民。●イギリス人、バルバドス島に植民開始。
- 1625年 オランダ艦隊、プエルトリコを襲撃。●フランス、アメリカ諸島会社設立。●フランス人、セントクリストファー島をイギリス人と分割。●イギリス人ら、セントクロイ島の植民を開始。
- 1627年 バルバドス、イギリスの直轄植民地となる。
- 1629年頃 イギリス人、バハマ諸島に植民開始。
- 1630年頃 イギリス人、スリナム河口地方に植民。
- 1632年頃 イギリス人、アンティグア、モントセラト、セントルシアに植民。
- 1634年頃 オランダ人、キュラソー島に植民。
- 1635年 フランス、アメリカ諸島会社再建、グアドループ、マルティニーク、ドミニカ、サバの各島の植民活動に従事。●オランダ人ヨル(Cornelis Corneliszoon Jol)、カリブ海域で海賊活動。●イギリス人、ヴァージン諸島に植民。このころから、イギリス人、ホンジュラス湾岸地方でログウッド伐採に従事。
- 1639年 バルバドスで代議制植民地議会召集。●このころからバルバドスにサトウキビ栽培が拡大、黒人奴隷の輸入が急速に増大、カリブ海域の奴隷制糖業プランテーション拡大の最初の島となる。
- 1649年 バルバドスで奴隷反乱。
- 1650年 パーミューダに続き、バルバドス、アンティグア、クロムウエル(Oliver Cromwell)の支配を拒否。●フランス人、セントクロイ島を占拠。●イギリス人、パラマリボに植民。●ブラジルを追われたオランダ人、エセキボ付近に入植。
- 1651年 イギリス、第1次航海条例制定。
- 1652年 第1次英蘭戦争(~1654年)。このころ、ブラジルを追放されたオランダ人がグアドループ、マルティニークに移住、サトウキビ栽培、砂糖精製の技術を広める。●このころからイスパニオラ島北側のトルトゥガ島(現トルチュー島)のフランス人ら、イスパニオラ島西部地方に移動。
- 1655年4月 クロムウエルの「西方遠征計画」(Western Design)によるイギリス艦隊、サントドミンゴを攻撃、失敗。

- 5月 イギリス艦隊、ジャマイカを占領。●その後、スペイン人および逃亡奴隷＝マルーン (maroon) の反撃が続く。
- 1661年 フランス、イスパニオラ島西部の植民地に総督を派遣、フランス語でこの地域はサンドマングと呼ばれる。
- 1663年 イギリス、王立アフリカ冒険商人会社設立。●フランス、赤道会社設立、カイエンヌ (現フランス領ギアナ) 植民に従事。
- 1664年 フランス西インド会社、貿易独占特許を獲得。●フランス人、モントセラトに植民。
- 1665年 第2次英蘭戦争 (~1667年7月21日)。
- 1667年 オランダ艦隊、パラマリボのイギリス人植民地を占領。
- 7月 このころ、ジャマイカで奴隷制糖業プランテーションが拡大し始める。
- 7月21日 ブレダ条約により英蘭戦争終結、アンティグア、モントセラト、セントクリストファーはイギリス領、スリナム地方はニューアムステルダム (現ニューヨーク) と交換にオランダ領となる。
- 1670年 スペイン、マドリッド条約により、イギリスのジャマイカ領有権を承認。
- 1671年 デンマーク、セントトマス島(ヴァージン諸島)を領有。
- 1672年 第3次英蘭戦争 (~1674年2月9日)。●イギリス、王立アフリカ会社設立。
- 1673年 フランスの奴隷貿易特許、西インド会社からセネガル会社へ移動。
- 1674年2月9日 ウェストミンスター条約により英蘭戦争終結。イギリス、オランダのスリナム領有権を確認。
- 10月 フランス西インド会社の特許廃止、フランス領植民地は国王直轄植民地となる。このころから、イギリス領西インド諸島のプランターたちは本国で圧力団体を形成。
- 1678年 トバゴ島、フランス領となる。
- 1680年 このころから、サンドマングで奴隷制糖業プランテーションが急速に拡大。
- 1685年3月 フランス、黒人奴隷法 (Code Noir) を制定。
- 1687年 デンマーク、セントジョン島(ヴァージン諸島)を領有。
- 1692年 ジャマイカのポートロイヤル、地震で壊滅。キングストンの建設始まる。
- 1697年9月20日 スペイン、ライスウィック条約によりフランスのサンドマング領有権を承認。
- 1698年 イギリス、王立アフリカ会社の独占特許を廃止し、奴隷貿易を自由化。
- 1699年 トリニダッドで反スペイン反乱。
- 1701年 スペイン、フランス王立ギニア会社と奴隷貿易特許、アシエント (asiento) を契約。
- 1713年 スペイン、イギリスのサウス・シー会社とアシエント契約。
- 1717年 スペイン商務院、セビリアからカディスに移動、カディスがインディアス貿易を独占。
- 1731年 キューバのサンティアゴ銅山で奴隷反乱。
- 1733年 デンマーク、セントクロイ島を領有。
- 1734年 ジャマイカ、第1次マルーン戦争 (~1739年)。
- 1740年 スペイン、王立ハバナ通商会社設立、キューバ貿易を独占。
- 1751年 このころ、サンドマングでマカンドル (François Macandal) の率いる逃亡奴隷が反乱活動 (~1758年)。
- 1755年 スペイン、バルセロナ会社設立、サントドミンゴ (イスパニオラ島のスペイン領有地域)、プエルトリコの貿易を独占。●北米植民地でフレンチ・インディアン戦争が勃発したのに伴い、イギリス軍、マルティニーク、グアドループを攻撃。
- 1760年 ジャマイカでタキー (Tacky) の奴隷反乱。
- 1762年2月 イギリス軍、マルティニークを占領。
- 8月 イギリス艦隊、ハバナを占領。このころからキューバでサトウキビ栽培が拡大。またスペイン本国のいわゆるブルボン改革により、植民地支配体制の見直しが始まる。
- 1763年2月10日 パリ条約締結、七年戦争 (フレンチ・インディアン戦争) 終結に伴い、ドミニカ、グレナダ、セントヴィンセントはイギリス領となり、グアドループ、マルティニーク、セントルシアはイギリスからフランスに返還、キューバはスペインに返還。
- 1765年10月 スペイン、カディスのインディアス貿易独

- 占を廃止。
- 1778年10月 スペイン、インディアス貿易の自由化を拡大。
- 1779年9月 北米植民地の独立軍を支援するため、フランス領西インド植民地からのフランス軍、ジョージア植民地に上陸。
- 1781年 フランス人、トバゴ島を占領。
- 1783年9月3日 パリ条約により北米独立戦争終結、トバゴはイギリス領からフランス領へ。
- 11月20日 スペイン、トリニダッドへの移民促進令を發布。
- 1784年 スウェーデン、サンバルテルミー島をフランスより購入。
- 1787年 ウィルバーフォース (William Wilberforce) ら、イギリス奴隷制廃止委員会を設立。
- 1788年 フランスで、奴隷貿易廃止運動組織「黒人の友」(Amis de Noir) が設立される。
- 1789年2月28日 スペインがキューバ、サントドミンゴ、プエルトリコへの奴隷貿易を自由化。
- 5月 スペイン、黒人奴隷法 (Código Negro) 制定。
- 7月 フランス国民議会、サンドマンングに代表権を付与。
- 1790年3月 サン・ドマンングでムラートを含む住民に国民議會議員選挙権を付与。
- 10月 サンドマンングでオジェ (Vincent Ogé) ら自由黒人による反乱、鎮圧される。
- 1791年5月15日 フランス国民議会、西インド諸島のムラートにも植民地議会被選挙権を付与 (9月24日撤廃)。
- 8月 サンドマンング北部で奴隷反乱始まる。
- 1792年4月 フランス立法議会、ムラートの他、自由黒人にも選挙権を拡大。
- 5月 デンマーク、奴隷貿易廃止法を制定。
- 1793年4月 マルティニークで王党派が蜂起、イギリス軍が上陸。
- 6月 サンドマンング北部のキャプフランセを奴隷反乱軍が占領。
- 9月 イギリス軍、サンドマンングに上陸。
- 1794年2月4日 フランス国民公会、奴隷解放を宣言。
- 4月 イギリス軍、グアドループに上陸。
- 5月 イギリス軍、ポルトープランス占領。
- 1795年 ジャマイカで第2次マルーン戦争。
- 7月22日 スペイン、ベール条約により、サントドミンゴをフランスに移譲。
- 1796年 イギリス海軍、エセキーボ、デメララ、ベルビセの各オランダ領植民地を占領、イギリス領ギアナとする。
- 1797年 イギリス海軍、トリニダッドを占領。●トゥサン・ルーベルチュール (Toussaint Louverture)、サンドマンングのフランス軍総司令官に任命される。
- 1798年10月 イギリス軍、サンドマンングから撤退。●フランス政府代表、サンドマンングから撤退。
- 1800年7月 トゥサン、サンドマンングを平定。
- 1801年1月 トゥサン軍、旧スペイン領サントドミンゴを占領、奴隷制廃止を宣言。
- 7月8日 サンドマンング憲法制定、トゥサン、終身総督に就任。
- 1802年1月 ルクレル (Victor-Emmanuel Leclerc) の率いるフランス軍、ナポレオンの命を受けてサンドマンングに上陸。
- 3月27日 スペイン、アミアン条約により、イギリスのトリニダッド領有権を承認。
- 5月20日 ナポレオン、奴隷制を復活。
- 6月 トゥサン、フランス軍に捕えられる。
- 1803年11月 デサリーヌ (Jean Jacques Dessalines) 率いるサンドマンング軍、フランス軍を撃破。
- 12月 フランス軍、サンドマンングから撤退。
- 1804年1月1日 デサリーヌ、サンドマンングの独立を宣言、国名をハイチとする。
- 10月 デサリーヌ、皇帝に即位。
- 1805年5月 ハイチ憲法制定。●この間、旧スペイン領サントドミンゴをフランス軍が占領。
- 1806年10月 ハイチで反乱が起こり、デサリーヌは殺害される。
- 1807年2月 クリストフ (Henri Christophe)、ハイチ北部の独立を宣言、大統領に就任。
- 3月 ペシオン (Alexandre Pétion)、ハイチ大統領に就任し、中南部を支配。
- 5月1日 イギリス、奴隷貿易を廃止 (西インド諸島では1808年3月1日発効)。

- 1808年1月1日 アメリカ合衆国、奴隷貿易廃止。
- 5月5日 スペイン、フェルディナンド7世 (Ferdinando VII), ナポレオンによって退位させられる。スペイン独立戦争開始、ラテンアメリカの各植民地では対スペイン独立戦争へ。
- 1809年1月 スペイン最高評議会、各植民地に対して、初めて国会参加を召請。
- 7月 イギリス軍、サントドミンゴをフランス軍より奪取。
- 1810年2月 スペイン摂政審議会 (Consejo de Regencia), 各植民地代表を再度召集。
- 9月24日 カディス国会開催、プエルトリコ、キューバの代表が参加。
- 11月 リゴア (André Rigaud), ハイチ南部の独立を宣言、ハイチの内戦状況は深刻化。
- 1812年3月19日 スペイン憲法制定、各植民地に国会への代表権を付与。
- 1813年 イギリス、グアドループをスウェーデンに譲渡。
- 1814年5月30日 ナポレオン戦争終結のパリ条約により、トバゴ、セントルシアはイギリス領に、サントドミンゴはスペイン領に、グアドループはフランス領に返還。フランスは、1819年6月1日以降の奴隷貿易廃止を約束。
- 1815年 ボリーバル (Simón Bolívar), スペイン軍の追撃を一時逃れ、反スペイン革命宣言をジャマイカで執筆 (「ジャマイカ書簡」)。
- 8月 プエルトリコで移民促進令公布。
- 1817年9月23日 スペイン、条約により、1820年以降の奴隷貿易廃止をイギリスに約束。
- 1818年3月 ハイチ大統領ベシオンの死去に伴い、後任にボワイエ (Jean-Pierre Boyer) 就任。
- 1820年5月30日 スペイン、奴隷貿易の廃止を宣言、実効なし。
- 10月 ハイチ北部で反乱、クリストフは自殺、ボワイエ、北部を併合。
- 1821年11月30日 サントドミンゴ、スペインからの独立を宣言。
- 1822年2月 ハイチ軍、サントドミンゴを併合。
- 12月 スペイン、奴隷貿易廃止を再度宣言。
- 1825年 フランス、多額の賠償を条件にハイチの独立を承認。
- 1834年 フランス奴隷制廃止協会設立。
- 8月1日 イギリス、奴隷制を廃止、年季奉公制 (apprenticeship) に移行。
- 1835年6月28日 スペイン、条約により、奴隷貿易禁止を強化することをイギリスに約束。
- 1837年 スペイン国会、キューバ、プエルトリコの代表権を停止。
- 1838年 イギリス領西インド諸島へのインド人移民始まる。
- 4月11日 イギリス、年季奉公制を廃止。
- 1843年3月 反乱により、ハイチ大統領ボワイエ亡命。後任にリビエル・エラル (Charles Rivière Héard) 就任。その後、内乱が続く。
- 1844年2月27日 サントドミンゴ、ハイチからの独立を宣言。
- 11月 ドミニカ共和国憲法制定、初代大統領にサンタナ (Pedro Santana) 就任。
- 1847年3月 ハイチ大統領にスルク (Faustin Soulouque) が就任、長期独裁体制をしく。
- 1848年3月4日 フランス、奴隷制を廃止。
- 9月 デンマーク、奴隷制を廃止。
- 1854年3月 キューバへの中国人の移住が許可される。
- 10月18日 ヨーロッパ各国に駐在する米国大使らが、キューバ買収の必要を説く文書を発表 (「オステンド宣言」)。しかしその後奴隷州の問題で米国政府は買収を断念、キューバ島内の併合論も退潮。
- 1861年3月 スペイン、サントドミンゴを再併合、サンタナ大統領は総督に就任。
- 1863年8月 サントドミンゴで反スペイン独立戦争、臨時政府樹立。
- 1865年4月 スペイン奴隷制廃止協会設立。
- 7月 スペイン、サントドミンゴの領有権を放棄し、撤退。
- 10月 ジャマイカで総督の圧政に対する民衆の蜂起 (「モラント湾の反乱」)。
- 12月 ジャマイカで植民地議会の権限停止、直轄植民地となる。
- 1866年11月 マドリードでキューバ、プエルトリコの施政改革のための聴問会 (Junta de Información) 開

- 権（～1867年4月）。
- 1868年9月23日 プエルトリコで反スペイン蜂起，鎮圧される（「ラーレスの叫び」）。
- 10月10日 キューバ東部でセスペデス（Carlos Manuel de Céspedes）らによる反スペイン反乱，「十年戦争」（第1次独立戦争）に拡大。
- 10月15日 九月革命後のスペイン革命評議会，奴隷の二世代めを解放。
- 12月14日 スペイン革命臨時政府，プエルトリコの国会代表権を回復。
- 1869年4月10日 キューバ反乱軍政府，グアイマロで共和憲法制定。
- 1870年7月 スペイン，奴隷解放の範囲を拡大。
- 12月25日 キューバ反乱軍政府，奴隷制廃止。
- 1873年3月22日 プエルトリコで奴隷制廃止，年季奉公制に移行（1876年廃止）。
- 1876年 グレナダ，セントヴィンセント，トバゴの各自治植民地，直轄植民地となる。
- 1878年2月20日 キューバ反乱軍と政府軍，サンホン協定を締結，十年戦争終結。
- 1880年2月13日 キューバ，奴隷制廃止，年季奉公制に移行（1886年10月7日廃止）。
- 1887年1月 ドミニカ共和国大統領にエアレアウス（Ulises Heareaux）就任，12年間にわたり独裁。
- 1891年 イギリス領ギアナに植民地議会設置。
- 1892年1月 マルティ（José Martí）ら，フロリダのキウエストでキューバ革命党結成。
- 1894年12月 日本人移民，グアドループに移住（1896年7月までに全員帰国）。
- 1895年2月 キューバ各地で独立派が一斉に蜂起，独立戦争（第2次）勃発。
- 1897年11月25日 スペイン，キューバおよびプエルトリコに自治権付与，キューバ独立軍はこれを拒否。
- 1898年2月11日 プエルトリコ自治政府発足。
- 2月15日 ハバナ港で，米艦船メイン号爆発。
- 4月25日 米国，対スペイン宣戦布告，米・西・キューバ戦争勃発。
- 6月22日 米軍，キューバに上陸。
- 7月17日 キューバのスペイン軍降伏。
- 7月25日 米軍，プエルトリコに上陸，占領。
- 8月12日 スペイン，米国と停戦協定に調印。
- 10月18日 プエルトリコで米軍軍政府発足。
- 12月 アンティグア，直轄植民地に移行。
- 12月10日 パリ条約により，スペインはキューバ領有権を放棄，プエルトリコを米国に移譲。
- 1899年1月1日 キューバで米軍軍政府発足。
- 1900年5月1日 フォレイカー法により，プエルトリコ民政府発足。
- 1901年2月21日 キューバ憲法制定。
- 6月12日 キューバ憲法にプラット修正条項を付加，キューバは米国の事実上の保護国となる。
- 1902年5月20日 キューバ共和国成立，初代大統領にバルマ（Tomás Estrada Palma）就任。
- 12月11日 米・キューバ互惠通商条約調印。
- 1903年3月23日 ポート・オブ・スペイン（トリニダッド）で暴動。
- 5月22日 米・キューバ恒久条約調印。
- 1905年3月31日 ドミニカ共和国，米国による関税管理を受け入れる。
- 1906年8月17日 キューバで反バルマ蜂起。
- 9月28日 キューバのバルマ大統領辞任。
- 9月29日 米国，キューバに軍事干渉，臨時政府を樹立（～1909年2月1日撤退）。
- 1908年11月14日 キューバ総選挙実施，ゴメス（José Miguel Gómez）大統領を選出。
- 1912年5月20日 キューバ，オリエンテ州でエステノス（Evaliste Estenoz）らの黒人蜂起。
- 11月1日 キューバ大統領にメノカル（Mario García Menocal）選出（1913年5月20日就任）。
- 1915年7月27日 ハイチで民衆反乱発生。
- 7月28日 米軍，ハイチを占領（～1934年8月1日占領終結）。
- 1916年5月1日 ドミニカ共和国議会，大統領を弾劾。
- 5月4日 米軍，ドミニカ共和国を占領（～1922年10月21日占領終結）。
- 8月4日 デンマーク，ヴァージン諸島を米国に売却（1917年3月31日主権移譲）。
- 1917年 イギリス領西インド諸島へのインド人移民が停止される。
- 2月9日 キューバ，大統領選をめぐりゴメス派蜂起。

- 3月2日 米連邦議会、ジョーンズ法を制定、プエルトリコ住民は米国民となる。
- 3月8日 米軍、再びキューバに軍事干渉(～1923年)。
- 5月20日 キューバ大統領にメノカル再任。
- 1922年 オランダ新憲法により、スリナムおよびオランダ領アンティル植民地、本国領土と同等の地位を獲得。
- 1924年11月1日 キューバ大統領にマチャド(Gerardo Machado) 選出、独裁体制をしく。
- 1930年2月23日 ドミニカ共和国で反政府蜂起。
- 5月16日 ドミニカ共和国大統領にトルヒーヨ(Ra-fael Leonidas Trujillo) 就任、独裁体制を築く。
- 1931年2月 米領ヴァージン諸島、民政に移行。
- 1933年5月18日 キューバで学生、労働者による反マチャド蜂起(「1933年の革命」)。
- 8月12日 キューバ、マチャド大統領辞任。
- 9月4日 キューバでパティスタ(Fulgencio Batista)らの反乱軍と学生・知識人が革命臨時政府を樹立。
- 9月10日 キューバ大統領にグラウ・サン・マルティン(Ramón Grau San Martín) 就任。米国政府はこれを承認せず。
- 1934年1月15日 パティスタ、再度クーデター、革命臨時政府崩壊。
- 5月29日 キューバ憲法プラット修正条項が撤廃される。
- 1937年3月21日 プエルトリコでナショナリスト・デモ弾圧事件(「ボンセの虐殺」)。
- 6月19日 トリニダード・トバゴで石油労働者のストが暴動に発展。
- 10月 ドミニカ共和国内で多数のハイチ人労働者が虐殺される。両国関係険悪化。
- 1938年5月 ジャマイカで港湾労働者のストが暴動に拡大、長期化。
- 7月28日 イギリス政府、西インド諸島の社会経済状態の調査委員会を任命。
- 1940年6月8日 キューバ新憲法制定される。
- 7月14日 キューバ大統領にパティスタ選出。
- 9月24日 米国、ドミニカ共和国の関税管理を解除。
- 1941年3月27日 米国、戦時緊急措置として、イギリス領カリブ海域植民地の海軍基地を租借。
- 1942年12月 スリナムおよびオランダ領アンティル諸島、オランダ国会への代表権を獲得。
- 1944年6月1日 キューバ大統領に、グラウ・サン・マルティンを選出。
- 11月20日 ジャマイカ立法院選挙、普通選挙制となる。
- 12月14日 ジャマイカ総選挙でブスタマンテ(Alexandre Bustamante)の率いるジャマイカ労働党(JLP)が勝利。
- 1945年9月24日 グアテマラ政府、イギリス領ホンジュラス(現ベリーズ)の領有権を主張。
- 1946年1月11日 ハイチでマグローワール(Paul Magloire)らによるクーデター。
- 3月15日 マルティニーク、グアドループ、フランス領ギアナが、フランスの海外県となる。
- 1947年9月9日 イギリス領カリブ海域植民地の代表が西インド連邦結成に基本的に合意。
- 1948年11月2日 プエルトリコの初代民選知事にムニョス・マリン(Luis Muñoz Marín)選出。
- 1950年5月30日 ハイチでマグローワールにより再びクーデター(12月6日大統領に就任)。
- 7月3日 米連邦議会、プエルトリコ住民による憲法制定を承認。
- 10月30日 プエルトリコ各地でナショナリスト党员が武装蜂起。
- 1952年3月3日 プエルトリコ自由連合州憲法を住民投票で承認(7月25日発効)。
- 3月10日 キューバでパティスタによるクーデター(4月4日大統領に就任)。
- 1953年4月27日 イギリス領ギアナ(現ガイアナ)、新憲法で初の総選挙、ジェイガン(Cheddi Jagan)率いる人民進歩党(PPP)が勝利。
- 7月26日 カストロ(Fidel Castro)ら反パティスタ勢力、サンティアゴ市のモンカダ兵営襲撃に失敗。
- 10月9日 イギリス軍、イギリス領ギアナ憲法停止。
- 1954年2月1日 バルバドス主席に連邦結成推進派のアダムズ(Grantly Adams) 就任。
- 4月28日 イギリス領ホンジュラス総選挙でプライス(George Price)率いる人民統一党(PUP) 勝利。
- 12月29日 スリナムおよびオランダ領アンティル諸島、本国と対等の自治権を獲得。

- 1955年1月12日 ジャマイカ総選挙でマンレイ(Norman Washignton Manley) 率いる人民国民党 (PNP) 勝利。
- 1956年9月24日 トリニダッド・トバゴ総選挙でウィリアムズ率いる人民国民運動 (PNM) 勝利。
- 12月12日 メキシコに亡命していたカストロら、キューバ東部に上陸、ゲリラ活動開始。
- 1957年3月21日 イギリス領ホンジュラス 総選挙でPUP再度勝利、プライス首席は独立をめざす旨の声明を発表。
- 9月22日 ハイチ大統領にデュバリエ (François Duvalier) が選出される。
- 12月6日 イギリス軍、イギリス領ホンジュラスのプライス首席を解任。
- 1958年1月3日 イギリス領ギアナとイギリス領ホンジュラスを除くイギリス領西インド各植民地、西インド諸島連邦を結成。
- 3月25日 西インド諸島連邦総選挙で、マンレイ、ウィリアムズ、アダムズらの率いる連邦労働党 (FLP) 勝利、首席にアダムズが就任。
- 4月9日 キューバで反政府ゼネスト。
- 1959年1月1日 キューバのバティスタ大統領亡命、革命軍が権力を掌握。
- 5月17日 キューバ農地改革法制定。
- 1960年5月27日 米国、対キューバ経済援助停止。
- 8月7日 キューバ、米国系資産を接收。
- 10月14日 キューバ、金融、工業を国有化。
- 1961年1月3日 米国、対キューバ国交断絶。
- 3月13日 ケネディ大統領、「進歩のための同盟」を提唱。
- 4月17日 反革命勢力、キューバのコチノス湾に侵攻、失敗 (「ピッグス湾事件」)。
- 5月1日 カストロ・キューバ首相、社会主義国家を宣言。
- 5月30日 ドミニカ共和国の独裁者トルヒーヨ、暗殺される。
- 7月17日 イギリス領ギアナで自治制施行。
- 9月19日 ジャマイカで住民投票の結果、西インド諸島連邦からの脱退を決定。
- 10月31日 イギリス領ホンジュラスの首都ベリーズ、ハリケーンで壊滅。
- 11月 ドミニカ共和国、内戦状態に陥る。
- 12月6日 トリニダッド・トバゴのウィリアムズ主席、単独独立路線を発表。
- 1962年1月1日 ドミニカ共和国、国家評議会成立。
- 2月3日 米国、対キューバ経済封鎖。
- 5月31日 西インド諸島連邦解体。
- 8月6日 ジャマイカ独立。
- 8月31日 トリニダッド・トバゴ独立。
- 10月22日 ケネディ大統領、キューバのソ連製ミサイル基地の存在を暴露、キューバ海上封鎖を命令 (「キューバ・ミサイル危機」)。
- 10月28日 フルシチョフ首相、キューバからのミサイル撤退を発表、危機収束。
- 12月20日 ドミニカ共和国、38年ぶりの自由選挙でドミニカ革命党 (PRD) のボッシュ (Juan Bosch) を大統領に選出。
- 1963年9月25日 ドミニカ共和国でクーデター、ボッシュ大統領は亡命。
- 1964年1月1日 イギリス領ホンジュラス、自治権獲得。
- 1月7日 バハマ諸島、自治権獲得。
- 4月1日 ハイチのデュバリエ大統領、終身大統領に就任。
- 12月7日 イギリス領ギアナの総選挙でバーナム (Forbes Burnham) 率いる人民国民会議 (PNC) 勝利。
- 1965年4月 ドミニカ共和国、ボッシュ派のクーデターから内戦に発展。
- 4月28日 米国、ドミニカ共和国に軍事干渉 (～1966年6月24日)。
- 1966年5月26日 イギリス領ギアナ独立、国名をガイアナとする。初代首相にバーナム就任。
- 6月1日 ドミニカ共和国大統領選挙で、バラグエル (Joaquin Balaguer) がボッシュを破って選出される。
- 11月30日 バルバドス独立。
- 1967年2月27日 アンティグア、セント・キッツ＝ネイヴィス＝アンギラ、イギリスの連合州となる (ドミニカ、セントルシア、グレナダ、セントヴィンセント、これに続く)。
- 7月23日 プエルトリコの地位に関する住民投票、自



由連合州制維持を決定。  
 1968年5月1日 カリブ海域の英連邦諸国、カリブ自由貿易連合(CARIFTA)を結成。  
 1969年1月 ガイアナ、ベネズエラと国境紛争。  
 8月 ガイアナ、スリナム間で武力衝突。  
 1970年2月23日 ガイアナ、共和政に移行。  
 1971年4月21日 ハイチのデュバリエ大統領死去、後任に子息のジャン・クロード(Jean Claude Duvalier)が就任。  
 1972年1月1日 イギリス領ホンジュラスの首都をベリーズからベルモパンへ移動。  
 2月29日 ジャマイカ総選挙でマイケル・マンレイ率いるPNP勝利、マンレイ首相は革新主義路線をとる。  
 1973年6月1日 イギリス領ホンジュラス、ベリーズに改名。  
 7月10日 バハマ諸島独立。  
 8月1日 CARIFTA加盟国、カリブ共同体・共同市場(CARICOM)を結成。  
 1974年2月7日 グレナダ独立。  
 12月24日 ガイアナのバーナム首相、社会主義路線を発表。  
 1975年2月28日 カリブ海域の英連邦諸国、EECとロメ協定締結。  
 7月29日 米州連合(OAS)、対キューバ関係を加盟各国の裁量に委ねることを決議。  
 11月25日 スリナム共和国独立。  
 12月17日 キューバ共産党第1回大会開催。  
 1976年2月24日 キューバ社会主義憲法制定。  
 8月1日 トリニダッド・トバゴ、共和政に移行。  
 12月2日 キューバ、人民権力全国会議開催。  
 1978年5月16日 ドミニカ共和国大統領にPRDのグスマン(Antonio Guzman)選出される。  
 11月3日 ドミニカ連邦(Commonwealth of Dominica)独立。  
 3月13日 グレナダでクーデター、ビショップ(Maurice Bishop)、首相に就任、革新主義路線をとる。  
 1979年2月22日 セントルシア独立。  
 10月27日 セントヴィンセント＝グレナディーン独立。

1980年3月24日 ジャマイカのマンレイ政権、IMFとの交渉決裂、社会・経済状況悪化。  
 4月4日 在ハバナ・ペルー大使館に亡命希望キューバ人殺到。  
 4月21日 キューバのマリエル港から多数のキューバ人出国(～9月26日封鎖)。  
 10月30日 ジャマイカ総選挙で野党JLPが圧勝。シーガ(Edward P. G. Seaga)、首相に就任。  
 1981年3月29日 トリニダッド・トバゴ首相ウィリアムズ死去。  
 9月21日 ベリーズ独立。  
 11月1日 アンティグア＝バービューダ独立。  
 1982年5月16日 ドミニカ共和国大統領にPRDのブランコ(Jorge Blanco)選出される。  
 12月8日 スリナム国軍参謀長デジ・ブテルス、全権掌握、社会主義路線を発表。  
 1983年9月19日 セントクリストファー＝ネイビス独立。  
 10月13日 グレナダで左派クーデター。  
 10月19日 グレナダ革命評議会、ビショップ首相死亡を発表、全権掌握。  
 10月25日 米軍、グレナダに上陸。  
 11月15日 グレナダ暫定政府発足。

[主要参考文献]

I 年表、史料集、逐次刊行物、百科事典等  
 増田義郎編「大航海時代・参考資料・年表」(会田山他監修『大航海時代叢書・別巻——大航海時代 概説・年表・索引』岩波書店 1970年)。  
 クリストバル・コロン著、林屋永吉訳『コロンブス航海誌』岩波書店 1977年。  
 クリストバル・コロン他著、林屋永吉他訳『大航海時代叢書 I——コロンブス、アメリゴ、ガマ、バルボア、マゼラン 航海の記録』岩波書店 1965年。  
 バルトロメ・デ・ラス・カサス著、染田秀藤訳『インディアスの破壊についての簡潔な報告』岩波書店 1976年。

- Bothwell, Reece B.; Lidio Cruz Monclova, *Los documentos: qué dicen?* Edición revisada y aumentada, リオピエドラス, Editorial Universitaria, Universidad de Puerto Rico, 1975年。
- Pichardo, Hortensia編, *Documentos para la historia de Cuba, I~III*, ハバナ, Instituto Cubano del Libro, 1971~73年。
- Keesing's Contemporary Archives: Weekly Record of Important World Events with Index Continually Kept Up to Date*, ロンドン, Keesing's Publication, 1931年。
- 『国際問題』(月刊)日本国際問題研究所 1960年4月号以降各号。
- La grande encyclopédie: inventaire raisonné des sciences, des lettres et des arts, par une société de savants et de gens de lettres*, 全31巻, パリ, Larousse, 1886~1902年。
- Enciclopedia universal ilustrada europeo-americana*, 全70巻, マドリード, Escasa-Calpe, 1908~30年。
- ラテンアメリカ協会編『ラテンアメリカ事典』1979年版 1978年。
- II 通史等
- Black, Clinton V., *The Story of Jamaica: From Prehistory to the Present*, ロンドン, Collins, 1965年。
- Bosch, Juan, *Composición social dominicana: historia e interpretación*, 第6版, サント・ドミンゴ, Editora Tele-3, 1975年。
- Burns, Alan, *History of the British West Indies*, ロンドン, G. Allen & Unwin, 1954年。
- Curtin, Philip D., *The Atlantic Slave Trade: A Census*, マディソン, University of Wisconsin Press, 1969年。
- Guerra y Sánchez, Ramiro, *Manual de historia de Cuba (económica, social y política)*, 第2版, ハバナ, Editorial Nacional de Cuba, Editora del Consejo Nacional de Universidades, 1964年。
- Heinl, Robert Debs, Jr.; Nancy Gordon Heinl, *Written in Blood: The History of the Haitian People 1492-1971*, ボストン, Houghton Mifflin, 1978年。
- Jarvis, J. Antonio, *Brief History of the Virgin Islands*, セント・トマス(ヴァージン諸島), The Art Shop, 1938年。
- Knight, Franklin W., *The Caribbean: The Genesis of a Fragmented Nationalism*, ニューヨーク, Oxford University Press, 1978年。
- Logan, Rayford W., *Haiti and the Dominican Republic*, ロンドン, Oxford University Press, 1978年。
- Morales Carrión, Arturo, *Puerto Rico: A Political and Cultural History*, ニューヨーク, W. W. Norton, 1983年。
- Moya Pons, Frank, *Manual de historia dominicana*, 第7版, サンティアゴ(ドミニカ共和国), Universidad Católica de Madre y Maestra, 1983年。
- Thomas, Hugh, *Cuba: The Pursuit of Freedom*, ニューヨーク, Harper & Row, 1971年。
- Williams, Eric, *History of the People of Trinidad and Tobago*, ロンドン, Andre Deutsch, 1964年。
- 同, *From Columbus to Castro: The History of the Caribbean 1492-1969*, ロンドン, Andre Deutsch, 1970年(川北稔訳『コロンブスからカストロまで——カリブ海域史, 1492~1969』I, II 岩波書店 1978年)。

(筑波大学大学院)